

こうい町 議会だより



入学おめでとう!
17人のなかまたち

31年度予算2P~4P

議員提出議案他	5P
予算の審議	6P~8P
参考意見	9P~10P
一般質問	11P~15P

議会のことをわかりやすくお伝えします

8月から新庁舎建設

平成31年3月定例会は3月5日から22日までの18日間の日程で開催した。

本年度の一般会計及び特別会計予算・条例制定等43議案について、慎重審議し原案通り可決した。5名の議員が一般質問を行った。

本年は新庁舎建設という大事業の年であり、前年に比較し7億3千万の増額となった。そのほか防災対策やバス対策、買い物支援、次の世代のための教育や子育て対策の予算編成となっている。

奥大山スキー場は、指定管理予定者が辞退したため6月を目途に今後の運営について検討することとなった。

平成31年度当初予算における基金残高は10億円、起債残高は44億円となっている。

一般会計

平成31年度予算主なもの

庁舎建設事業
本体事業費
7億4,327万円

町営バス運行
委託事業費
5,600万円

買い物福祉サービス
支援事業費
1,123万円

防災情報通信施設
整備事業費
1,093万円

おためし住宅等
改修費
800万円

ジビエ解体処理施設
整備事業費
450万円

木谷沢溪流遊歩道
整備事業費
799万円

放課後子供教室
事業費
1,484万円

「こうふのたより」
業務委託事業費
1,050万円

平成30年度補正予算主なもの

スキー場
赤字補填
2,200万円

診療所
赤字補填
1,200万円

除雪費
1,150万円

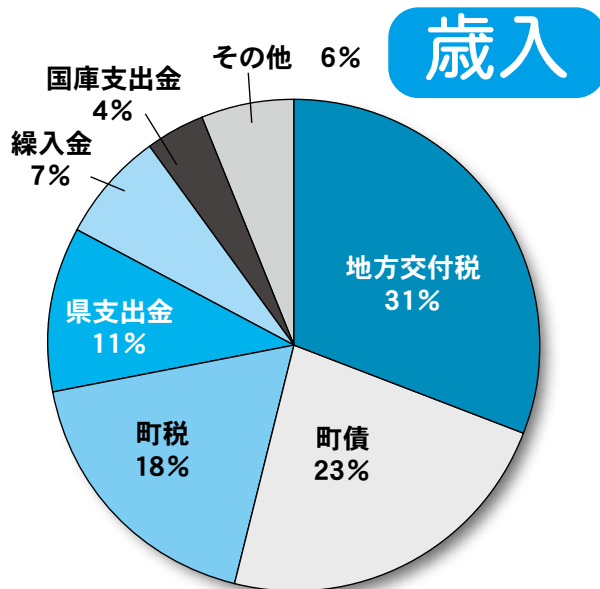
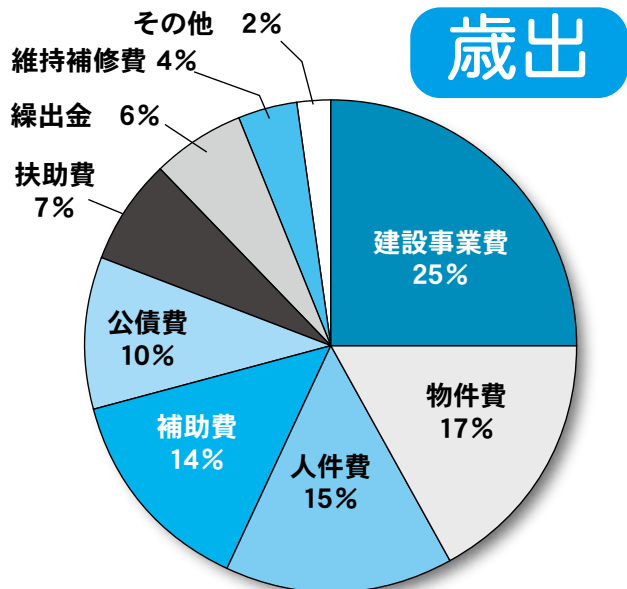
庁舎建設
設計費
△942万円

2021年3月移転を目指し

平成31年度予算一般会計39億9千万円 前年対比122.5%

(単位：万円)

項 目		31年度	30年度	増 減	説 明
歳入	地方交付税	12億2,800万円	12億1,000万円	1,800万円	国からの交付金
	町税	7億0,815万円	6億9,237万円	1,578万円	企業、町民からの税金
	県支出金	4億2,503万円	3億9,263万円	3,240万円	使用が特定された交付金
	町債	9億3,430万円	3億4,490万円	5億8,940万円	町の借金
	国庫支出金	1億7,194万円	1億6,408万円	786万円	使用が特定された交付金
	繰入金	2億7,889万円	2億1,736万円	6,153万円	基金からの繰り入れ
	その他	2億4,669万円	2億3,866万円	803万円	使用料、繰越金、財産収入等
	合計	39億9,300万円	32億6,000万円	7億3,300万円	
歳出	人件費	5億8,320万円	5億9,277万円	△957万円	職員、議員の給与
	補助費等	5億5,900万円	7億3,081万円	△1億7,181万円	三町衛生施設組合等補助金
	物件費	6億5,867万円	6億2,761万円	3,106万円	業務委託料、賃金、備品等
	公債費	3億8,250万円	4億0,689万円	△2,439万円	町の借金返済
	繰出金	2億3,295万円	2億2,194万円	1,101万円	特別会計へ繰り出す金額
	建設事業費	9億9,360万円	2億6,269万円	7億3,091万円	庁舎建設費、道路改修費
	扶助費	2億7,571万円	2億6,442万円	1,129万円	医療費、子ども手当等
	維持補修費	1億4,375万円	1億3,311万円	1,064万円	道路、建物等の維持費
	その他	1億6,362万円	1,976万円	1億4,386万円	積立金、貸付金等
	合計	39億9,300万円	32億6,000万円	7億3,300万円	



特別会計 (12会計) 公営企業会計 (2会計)

スキー場について早急に方針を出すこととなった。診療所は約3,000万円の赤字となっているため早急に原因を探り持続的な運営ができるよう経営分析を行う。

特別会計	31年度	30年度	増減額	繰入金
住宅新築資金貸付事業	176万円	159万円	17万円	
国民健康保険（事業勘定）	3億3,493万円	3億5,146万円	△1,653万円	2,418万円
国民健康保険（施設勘定）	2億3,195万円	2億3,467万円	△272万円	5,727万円
介護保険事業（保険事業勘定）	5億9,409万円	5億9,237万円	172万円	9,285万円
介護保険事業（サービス事業勘定）	213万円	216万円	△3万円	
介護老人保健施設あやめ	5,415万円	1億8,630万円	△1億3,215万円	1,835万円
後期高齢者医療	4,835万円	5,170万円	△335万円	1,847万円
索道事業	8,451万円	7,950万円	501万円	
江尾財産区	242万円	248万円	△6万円	
神奈川財産区	168万円	172万円	△4万円	
米沢財産区	820万円	444万円	376万円	
西部情報公開・個人情報保護審査会	56万円	0	56万円	
合 計	13億6,473万円	15億0,839万円	△1億4,366万円	2億1,112万円

公営企業会計	31年度	30年度	増減額	繰入金
簡易水道事業				
収益的收入	7,068万円	7,196万円	△128万円	1,818万円
収益的支出	1億1,137万円	1億1,032万円	105万円	
資本的收入	8,504万円	1億5,793万円	△7,289万円	3,854万円
資本的支出	1億0,004万円	1億7,904万円	△7,900万円	
下水道等事業				
収益的收入	1億4,150万円	1億4,358万円	△208万円	5,701万円
収益的支出	2億1,977万円	2億0,847万円	1,130万円	
資本的收入	1億7,770万円	1億9,162万円	△1,392万円	9,950万円
資本的支出	1億7,800万円	1億9,207万円	△1,407万円	

平成31年度主な事業

江尾診療所

- ・ 俣野診療所開設
- ・ 赤字経営を立て直す為の経営分析

165万円



『俣野ふれ愛学舎』

簡易水道事業

- ・ 俣野深山口地区水源調査
2,000万円
- ・ 小江尾～佐川配水管敷設替
2,650万円

下水道事業

- ・ 江尾地区と川筋地区下水道統合

1,510万円

奥大山スキー場

- ・ 6月を目途に再度指定管理者を募集し今後の方針を決定する。

議員提出議案

江府町議会会議規則の一部を改正する規則について承認された。

これまで、一般質問については、一つの質問に対し、質問回数を3回までとしていたが、政策論争をより深めるために、回数の制限をなくした。

また、町長にも反論権を認めた。これにより、町長と議員が互いに考えを言い合える環境ができ、質の高い政策論争が展開できることとした。

追加項目

(一般質問)

第61条

5. 質問時間は、質問者、答弁者合わせて60分以内とし、質問回数は制限しない。



日野病院組合議会報告

平成30年度日野病院事業等の決算見込みについて報告され、医業収支については、入院患者数が減少傾向に伴い、減収の見込みである。

平成31年度の予算について承認可決された。

また、主な新年度事業に透析部門の充実を図り、土曜日の透析を開始することになった。

日野病院組合議会報告書

病院事業予算の概況

収入	医業収益	13億4,768万円
	医業外収益	4億300万円
支出	医業費用	17億962万円
	医業外費用	3,602万円

在宅介護支援事業予算の概況

収入	介護サービス収益	7,148万円
	介護サービス外収益	2,144万円
支出	介護サービス費用	8,658万円

診療所事業会計予算の概況

収入	医業収益	298万円
	医業外収益	1,705万円
支出	医業費用	1,398万円
	医業外費用	0.6万円

日野町江府町日南町衛生施設組合議会報告書

平成31年度の予算について承認可決された。

前年度に比較し、1,470万円の増額予算で施設の維持管理に重点を置いた予算となった。

予算総額 1億7,523万円

主な歳入

分担金及び負担金	1億6,699万円
使用料及び手数料	200万円
繰越金	604万円

主な歳出

総務費	1,256万円
衛生費	1億1,345万円
公債費	3,890万円

陳情の審査結果

件名	審議結果
全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の趣旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出することを求める陳情書	不採択とすべきもの
教職員の長時間過密労働の解消を求める陳情	趣旨採択とすべきもの

一般会計

総務課

Q ふるさと大使はどのような活動をしているのか。

A サークル活動をした江府町に旅行に來たりしている。

Q せせらぎ公園はグラウンドゴルフに特化すべきではない。公園としてだれでも利用できるようにすべきと思うが。

A 一部グラウンドゴルフ場として整備したが、全体としては皆さんの公園として利用している。

Q 町のホームページをもっと見やすくするとか作り方についてもアドバイザーを含めて充実改良したらどうか。

A 担当職員が変わってからもだいたい良くなってきたと思う。今年さらにはレベルアップすると思う。

住民課

Q 空き家の窓口をNPOがしているが、どれくらいの問い合わせがあるか。対応は。

A 調査件数166件ある。空き家バンクに登録してもらわないと次に進めない。

Q 納税組合が解散するが。

A 個別対応で口座振替をお願いしていくことになる。

Q 大型バスを購入する予定になっているが。

建設課

A 俣野線に59人乗りを予定している。

Q 町道下安井舟場線工事の進捗状況は。

A 用地交渉の段階である。

Q 下蚊屋ダムの小水力発電の売電収入はどれ位見込んでいるか。

A 年間5,600万円ほど見込んでいる。



下蚊屋発電所

予算

農林産業課

Q 集落営農、地域営農の現在の状況は。

A 宮市、杉谷、美用の三集落です。あとは勉強会は開かれているが次の第一歩が出ない状況です。

Q 耕作放棄地は町内にどれくらいあるのか。

A 約56ヘクタールが遊休農地です。

Q 子牛の購入補助金は今年はどうなっているのか。

A 5頭分用意している。

Q 今年度より新設された森林環境譲与税交付金は林道整備や間伐には使えるのか。

A 既にある補助事業を使った林道整備や間伐には使えません。自らが管理できないとして町へ信託する森林について整備する事業が対象となります。

Q 小学校のプールが老朽化してきたが。

A 新しいプールを作るかあるいは町民プールを使うとか検討することになっている。早急に結論を出したい。

Q 行財政方針の中でふるさと教育に取り組むとあるが。

A 日野高校魅力向上や日野郡の子供に合ったふるさと教育をやっていくことです。

Q 民俗資料館は展示物を整理する必要があると思うが。

Q 社会教育主事を常時置くべきと考えるが。

A 職員の中から研修をさせて資格を取るよう指導している。

A 県の派遣アドバイザーより1階を十七夜関係、2階を歴史ものの展示に変更しました。

教育委員会

開館日が増えた民俗資料館



特別会計

住宅新築資金 貸付事業

Q 現在の利用状況は、どのように把握しているか。

A 7名の利用があり、うち2名は31年9月までに償還を終える。残り5名については少しずつではあるが、回収に努めている。

国民健康保険

Q 今後、後期高齢者がふえて医療費負担が高くなると予想されるが、

A 医療費抑制の一つとしてジェネリック薬の使用を啓推進したい。

介護老人保健施設 あやめ

Q 現在の入所状況はどうか。

A 只今の入所状況は、80床に対して57床で、看護師不足によるもので、改善して利用率の向上を目指します。

Q あやめの運営協議会を積極的に開催すべきでは。

A 意見交換の場を随時開催し、諸問題の解決に活用したい。

介護保険事業

Q 居宅住宅改修費についてどのように対応されているか。

A 利用者の負担軽減になるような工夫や方法を考えます。

索道事業

Q 指定管理候補者が中途で辞退されたが、今後の見通しは。



今後の運営が検討されるスキースタジアム

A 町として再度指定管理者を募集し、6月を目途に今後の方針を検討します。

米沢財産区

Q 事業費が大きく膨らんでいるが。

A 財産区の使用権付与地内で砂防事業が開始されることによる土地の売却収入です。

西部情報公開個人情報保護審査会

Q どんな内容か。

A 審査案件は年間3件程度です。すべて情報公開、または、個人情報にかかる重要案件である。今後も住民の安心・安全を担保する活動です。

一般会計

予算特別委員会 参考意見

総務課

①新庁舎建設事業が本格的に始まり、平成31年度は建設の段階に入る。将来にわたり利便性を考慮した施設となるよう十分に検討の上、建設されたい。

②防災行政無線のデジタル化に伴い、災害時における緊急対応や生活に役立つ施設として機能するよう検討されたい。

住民課

③せせらぎ公園並びにあやめ館の管理運営については、計画性のある管理運営に努め、利用者の利便性を図られたい。

①集落内循環バス運行については、十分な周知のもとに弱者の目線に立った運用、並びにタクシーと循環バスとの相互間の利便性を生かした将来を見据えた取り組みを図られたい。

②納税組合の解散に伴う未納者への対応、並びに高齢納税者の利便性の向上を図られたい。

③移住定住促進については、空き家の利活用を充分に検討し併せて在住者についての事業適用を含め、危険家屋の撤去等、早急に検討されたい。

福祉保健課

①旧俣野小学校に新設される診療所の運営については、今後の江府町の地域医療を維持するうえで大変重要であると思われることから慎重な取り組みを願う。

②総合福祉センター2階改修による土足利用は、施設の利便性向上となる。今後とも町民の生活目線に即した施設運営に努められたい。

農林産業課

①森林環境譲与税の活用による、森林環境状況を早急に把握し森林経営計画の樹立、森林整備担い手育成、林道整備等林業政策の強化を図られたい。

②ジビエ施設の新設に伴い、イノシシ等の捕獲強化を行い、農産物・農用

建設課

地の被害削減を図るとともにジビエによる6次産業化を行い町の活性化を図られたい。

①地籍調査については、高齢化が進む中、実施要望箇所も多く実施に向け十分な努力を図られたい。

教育委員会

①義務教育学校については、保護者・生徒のみならず、住民にも十分な情報発信を行い、理解の上で取り組みを進めていただきたい。

②ふるさと教育を重要視されているが、本庁の教育の原点は、人権・同和教育である。それを踏まえたふるさと教育を実施されたい。そして必要がある事業は予算化し、実施に向け取り組みを図られたい。



有効利用が求められるあやめ館

特別会計

国民健康保険 (事業勘定)

①医療が充実するほど医療費負担は高くなるが、優れた工夫を実践されている他町に学ばれたい。

②予防医療を推進するため町民の健康に対する意識を高め、住民健診の受診率向上に努められたい。

江尾診療所

①平成30年度は3,000万円の繰り入れ処置、平成31年度は3,300万円の繰り入れを予定しているが、早期に経営診断をして経営改善に努められたい。

介護老人保健施設 (あやめ)

①昨年は空調設備の再整備に1億4千万円を投資しましたが、経営に与える影響は大きかった。将来に備えた施設の管理を実践されたい。

②指定管理の契約が残り2年となったが、だれもが契約を望むような環境を整えるよう努められたい。

介護保険事業 (保険事業勘定)

介護認定審査は西部広域行政組合に委託しているが、基本的な情報は職員及び調査員の面接と主治医により収集している。なお一層客観的な調査認定となるよう努められたい。

索道事業特別会計

①平成30年度は平成27年度に次ぐ営業日が少なく、2,200万円の繰り入れを見込むこととなりました。平成31年度予算は今年度と同規模の予算計上であるが、これは指定管理候補者が計画を途中で辞退したことによるものである。町として再度指定管理者を募集する意向であるが、6月を目途に今後の方針を定めるべきと考える。

簡易水道事業会計

①平成31年度は、深山口地区において水源改良のため2,000万円で調査を行う。また江尾地区の小江尾、佐川間で配水管の老朽化により

漏水が多発するため、2,650万円で布設替え工事を予定している。いずれの事業も速やかに完了して、町民に良質な「水」の提供に努められたい。

下水道等事業会計

①平成31年度の主要

な建設改良事業は下水道事業の統合である。川筋地区の下水道を江尾地区下水道と接続して事業を効率化するものである。事業費は1,510万円を予定している。新庁舎建設にも関係するので早期の事業完了に努められたい。



川筋地区集排が接続する江尾地区下水終末処理場

有害鳥獣被害防止とジビエの取り組みは？

質問 有害鳥獣被害防止については、電気柵・ワイヤーメッシュの取り組みがなされ、既にワイヤーメッシュは、約26kmにわたり、住民が檻の中で生活している様な状況であり、地元負担は、430万円をこえている。昨年度の被害は221アール、290万円を上回っている。高齢化により、電気柵、ワイヤーメッシュの設置・管理に掛かる労力不足が懸念されている。鳥獣被害防止の取り組みについて、町長の所見を伺いたい。

有害鳥獣被害防止と捕獲・ジビエの取り組みについて



阿部 朝親

動画で一般質問



阿部議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

町長答弁

高齢化、担い手不足により設置が困難といった話は聞いている。施設設置補助は、既に制度として設けている。人材不足は、鳥取県農山村ボランティア制度があるので、制度を活用いただきたい。

質問

高齢化により施設管理が出来なくなりつつある。これを農業公社に委託する方法が考えられるが。

町長答弁

農業公社が無料で受けるとは思わない。主体はあくまで農業公社なので、意見を聞いてみないと何とも言えない。

町長答弁

農業公社の管理費用を集落が負担するのであれば話はしてもよいと考える。また、設置は土地の所有者が必要

質問 当然負担は必要であるが、一つの論点と考える。必要な箇所には要望が無くてもワイヤーメッシュなどの設置が必要と考えるが、要望がない限り設置は行わないとの考えか。

質問

町内における本年の捕獲頭数は既に鹿8頭、イノシシ127頭となっており、増加傾向にある。捕獲したものは、とめ刺しから解体処理まで、捕獲者が行っており、中には埋設したり、放置されることもある。高齢化により捕獲作業も困難

と言う声を出されるのが基本であるとの考えで進めている。



ワイヤーメッシュの設置がすすむ荒田地区

町長答弁

特産化は捕獲頭数が1000頭以上にならないと成り立たないと考える。当初予算にジビエの解体処理施設を盛り込んである。これは、江府町のジビエを支援する会の事業実施を考える。町の事業として取り組まない。高齢化の取り組みについて、自分たちで後継者を育てると明言されているので、その取り組みを応援していく。

な状況となりつつあり、早急に解体処理施設が必要と考える。また、解体処理したジビエの商品化、6次産業の取り組みを行えば、商工観光の活性化の一助となると考える。耕作放棄地が増えれば、野生動物のパラダイスとなり、更に耕作放棄地が増えるという悪循環を断ち、農地を守る事を最重要課題として取り組んでいただくことをお願いし、質問を終わる。

農業にかかる諸問題について 平成31年度行財政方針案について



川端登志一

動画で一般質問



川端議員の一般質問は
動画サイトyoutubeで
ご覧いただけます。

用水の取り入れ口 は農地の生命線

質問 農業用水の取り入れ口は水害をうけやすく被災すると多額な復旧費がかかります。将来の負担や不安を取り除く様な方策や仕組み作りを進める考えはないか町長の所見を伺う。

町長答弁 方策については財政状況もあるが関係者の声を伺うということとはやぶさかではない。機会があれば意見を聞くようにしたい。

方策については財政状況もあるが関係者の声を伺うということとはやぶさかではない。機会があれば意見を聞くようにしたい。



被災した俣野地区取水堰

質問 経済的な負担を軽減する具体的な案はある。

町長答弁 中山間直接支払いがある。できれば既存の

制度を有効活用して頂きたい。

質問 農業共済ではコンクリート構造物には補償がない。行政からの働きかけを望みたい。

※(町内の取水口の数68カ所、水路延長は約90kmです。)

町長答弁

早急に、と考えるが、具体的な中身を検討するために、担当課を交えて話をさせて頂きたい。

農家の声を聴いてほしい

質問 町長は集落点検事業や語る会を通して民意の収集に努めているが、加えてJAの座談会に職員を同行させ農家の声を直に聞き想いを共有し活性化につなげる考えはないか伺う。

町長は集落点検事業や語る会を通して民意の収集に努めているが、加えてJAの座談会に職員を同行させ農家の声を直に聞き想いを共有し活性化につなげる考えはないか伺う。

町長答弁

座談会で出た意見を聞かせてほしい。それを検討したうえで、なお要請があれば出向かせて頂きたい。

郷土愛を育てる教育

質問 町長の言う郷土愛を持たせる教育とは、具体的に何を根拠にするのか、その実施に当たり町内の各種事業は含まれるか町長の所見を伺う。

1つは奥大山、そこから生まれる水や農産物。もう1つが江尾十七夜。城主を偲んでやり続けてきたというこの町民性、全国に誇れるものです。この2つをキーワードにして子どもたちにしっかりとそれを育んでもらいたい。それと、町内の各種工事。中には生徒が書いた文字が橋のプ

町長答弁

1つは奥大山、そこから生まれる水や農産物。もう1つが江尾十七夜。城主を偲んでやり続けてきたというこの町民性、全国に誇れるものです。この2つをキーワードにして子どもたちにしっかりとそれを育んでもらいたい。それと、町内の各種工事。中には生徒が書いた文字が橋のプ

レートに使われた事例もありその子どもたちはずごく誇りに思っていると思う。そういう気持ちを持ってもらう教育をすべきではないかとも考えている。

質問 その工事の過程を実際に見ればもった印象が深くなるのでは。

教育長

江府町の形が大きく変わろうとしている今、その過程を実感するというのは重要だと思っています。

質問 大人たちにもしっかりと具体例を伝える必要があると思うが。

町長答弁

大人にもそういった良さを分かっていると思う。町内の素晴らしい所や、新しくできた場所をめぐるようなツアーはぜひ考えてみたい。

子供の通学路は安全ですか



江府小学校登校風景

通学路の安全確保と点検について

質問 小学校に82名、中学校には64名の子供



空場 語

動画で一般質問



空場議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

達、毎日通学をしています。

江府町では、最近、大型工事が4ヶ所あり、工事車両の交通量が、2倍3倍になって、交通事情が悪くなっていますが、町では、通学路の状況を把握して、安全点検をされたのか、町長の所見を伺います。

町長答弁

交通量が多くなつた現状をふまえて、関係会社に通学路の安全の要請を行っています。

教育課長答弁

交通事情の変化により、新たな危険が発生することがあるので、江府町通学路交通安全プログラムに基づいて、関係機関と連携して、交通安全対策の推進に努めています。

年1回の点検だけでなく、冬期の点検も

質問 年1回の点検だけでなく、冬期の雪だまりや歩道、踏切の未除雪が見られ、通学に支障があるようですが、

町長答弁

より安全な通学路が確保できるよう、関係機関と一緒に頑張っていきます。

将来を担う人材育成について

質問 若者の夢をかなえ、大学や専門学校に進学するのに、奨学金の制度があります。

奨学金の制度があります。

お金がなくて行けない学生に、奨学金の返済免除の制度があります。

今後、不足が見込まれる、看護師、保育士、介護士等の学校に進まれる若者に、この制度を活用して進学し、夢をかなえることはどうか。

町長答弁

奨学金の制度については、中学生議会でもありました。今、検討中でございます。

専門職（プロ）の養成に向けて

質問 役場職員には、防災監のような専門家はいませんか。

職員研修をする中で、専門職を養成される考えはあるか。

町長答弁

専門的な技術を持つものは、全てをそろえるのは難しいと考えます。

防災監につきましては、災害が起こっている状況であれば検討してみる課題と考えます。

買い物難民をなくそう

質問 江府町からJAのスーパーがなくなり、「あいきよつ」に変わり、昨年からは「えんちゃん」で中山間のみならず、町中で高齢者が日々の生活の買い物に助けられています。この事業は、大変重要と考えるが。

町長答弁

町内には、車で遠くまで買物に行けない方が、たくさんおられます。

町としては、アドバイザーの力も借りながら、この事業が継続できるような工夫を、今やっております。

平成31年度行財政方針から 見える課題について



三輪 英男

動画で一般質問



三輪議員の一般質問は
動画サイトyoutubeで
ご覧いただけます。

空き家等対策 協議会について

質問 全員協議会において十分な説明や質疑等が行われないままに報告のみに終始したのはいかにも一方的な対応の仕方ではなかったのではないのでしょうか。

町長答弁

パブリックコメントは期間を定めて募集したが、応募がなく結果的に「意見なし」としました。事前の協議会においても、事務局案提示をしていたが、取分け異論がなかったの

絡で行ったというのは多少不適切だったかも知れません。

認知症と共に生きる現状は

質問 江府町の認知症対策の課題といえますか、物忘れ外来等の現状から、高齢化率45%の本町では、今後ますます増加することが想定されます。認知症になっても地域で安心して暮らせるためのネットワークづくりが求められています。認知症の発病予防、重症化への理解、これを深めるための対策はどのようなか伺う。

町長答弁

認知症になっても住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくり、そして家族の方の想いに寄り添っていただける対応が大切だと思います。

新年度の課題と展望は

質問 町長就任以来職員に対して言われておられる、

- ①住民目線
 - ②当事者意識
 - ③挑戦
- についての達成度はどのように認識しているか伺う。

町長答弁

①住民の皆さんのことを何でもかんでも聞くことではないと思っております。まずは話をしっかりと伺う、門前払いはいけません。その後いろいろ議論をしなければいけないと思っています。②最初に受けたところがしっかりと窓口と

なつて受け止めてつなぐ。
③これは今までやらなかったこと、できなかったことなどがありますが、とにかく物事に向かっているという

うことであります。いずれにしても、まだ道半ばです。これからどんどん浸透させていきたいと思っています。



桜満開のせせらぎ多目的公園

新年度事業促進を図るには



森田 哲也

動画で一般質問



森田議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

新年度事業促進のための組織連携の強化について

質問 新しい事業展開が求められる今日において、より高度な情報共有化、情報発信の推進が求められる。新年度事業の推進に向け、更なる連携の充実が必要と考えるが伺いたい。

町長答弁

最近大きな案件がたくさんでいる。従来やっていたような業務方法ではやれない時代になってきていると思う。そうした中、これから連携



検討が急がれる空き家対策事業

を深めるには、私の考えを各管理職と十分に共有できる状態にし、職員と連携を図ること、風通しの良い組織が出来るようになる。

質問 今回連携という問題を提起したのは、空き家の件で町外の方から問い合わせがあり、

町長答弁

まさにそのとおりと思う。小さい町だからこそ組織の連携が大切と思う。しかし、なかなか自分の思いが伝わらないが、徐々に浸透してきたと感じる。今後どう広げていくかが大切と考える。

質問

新しい時代の到来に合わせ事業も困難になっており、職員の負担も大きくなっているが、その時代に合わせた職務に更なるスキルアップを図る方法はあると思うが。

町長答弁

その通りだが、従来のやり方に抑えられている感じがおり、もっと積極的にやってもらいたいと感じる。自分も新しい講話等研修内容を考えたい。

質問

学校、保育所等出先機関でも問題が、昨今大きく取り上げられているがこういった職場とは、よりしっかりと連携が必要と考えるが、教育長に伺う。

教育長答弁

一人一人との聞き取りをより充実させていくほか、職場でも3人体制の指導や、チームでの対応の大切さを重視していきたい。

質問

職員との連携強化には、人事管理責任者の副町長がもっと積極的に職員との面談を実施すると、職員の意見の吸い上げ方法のスピード化についても、しっかりと実施したい。

副町長答弁

そういった面談は非常に大切なことと、今後も続けていくべきと考える。

＜事が必要と考えるが、副町長に伺う。＞

質問

この平成31年度の行財政方針にも新しいメニューがたくさんある。新しいシステムを作っていく、少子高齢化、過疎化のスピードについていくには、まず、事業をスタートし、改善改良を加えながら実行していくべきと考えるが。

町長答弁

今回の質問は、私の考えを代弁してもらった質問と思う。直接職員と話しながら、管理職を通して昔ながらのやり方を改善をしていき、新しい事業展開を進めていくため、組織の連携強化に向けて改革をやり続けていきたい。

私のひと言



佐川 筒井 真理

移住定住の仕事について

長女が小学生になるタイミングで、主人の故郷である江府町に来てから3年が経ちました。

江府町に来る前は米子市で生活しており、百貨店の化粧品売り場で接客の仕事をしていました。1年間、江府町役場で移住定住相談員の仕事をさせていただき、現在はNPO法人こうふのたよりのスタッフとして働いています。NPOでは、移住定住・空き家バンク・ふるさと納税が主な担当です。

江府町に来る前は、今までと違う環境に不安でいっぱいでしたが、子ども達が毎日楽しそうに小学校や保

育園に通っている姿を見ると江府町に来て良かったとしみじみと思います。

江府町に来て、自分が実感した人の温かさ・景観の美しさ・空気や水の美味しさなどを移住希望者の方にはお伝えしています。江府町に住むメリットとデメリットを理解してもらったうえで、移住された方に「江府町に来て良かった。」と言ってもらえると嬉しく思うと共に移住定住の仕事のやりがいを感じます。

空き家バンクの仕事をしています。江府町に住みたい人が居られても、すぐに住める家が無いのが現状です。私自身も江府町に来る前に家探しに苦労したので、少しでも空き家バンク登録件数が増えるように頑張っているところです。空き家に関するどんな小さい情報でもいいので教えていただけると嬉しいです！

私自身、江府町の知らない事がまだまだ沢山あるので、もっと勉強し、江府町の魅力を全国の人に発信していきたいと思っています。これから宜しくお願い致します。



道の駅奥大山 レストランなないろ櫻 料理長 生田省二

奥大山道の駅での日々

私が奥大山道の駅に勤め始めて、約11ヶ月が経ちました。元地域おこし協力隊員、だった私は、協力隊員当時、週1回の出張営業を任されていた。当時は、道の駅レストランの料理長に着任する事になるとは思ってもいませんでした。昨年の6月からスタートしましたが、私には、蕎麦、大山おこわを作った経験がありませんでした。蕎麦出汁は、米子に有る上代蕎麦さんに教わり、大山おこわは江府町におられる、先輩に教わりました。蕎麦、おこわが完成して落ち着いた頃、道の駅には、やはりラーメンが必要だと思い、ラーメンの試作を始めました。私は、米子出身ですので、馴染んでいる味は牛骨ラーメンでした。塩ダレに使う塩

は、大山町で作られている天然の藻塩です。昆布と牛骨のシンプルなスープに、日本海のミネラルを含んだ藻塩がとても良く合いました。醤油ダレには、淀江で作られている須山醤油さんの生醤油を使いました。この生醤油は、元々蕎麦に使う「かえし」を作る為に使います。ラーメンに使っても美味しいのではないかと、思い試作したら、ほんのり甘く、深い醤油の風味がとても良く合いました。そして3番目のラーメンは、味噌ラーメンです。もちろん奥大山高原味噌を使いしました。味噌の甘みとコクが牛骨ラーメンにとっても良く合いました。そして、今試作中の4番目のラーメンが「猪ラーメン」です。何回か試作しましたが、牛骨とは全く違う、新しいラーメンが出来そうです。地元の大先輩の話では、雄と雌の味の違いや、肉の調理の仕方等、とても奥が深いのです。地元のお客様や、町外、県外のお客様に、楽しんでもらえるレストランにする為、これからも精進して参ります。これからも奥大山道の駅を宜しくお願い致します。



平成最後の3月定例議会が終わりました。

記念すべき御代替わりの年、5月には新天皇が即位されます。令和元年、本町においては、いよいよ新庁舎建設が始まります。

議会においても議会改革の一環として江府町議会会議規則の一部を改正し、一般質問の回数の制限を撤廃し一人60分を限度として何回でも質問できるように改正しました。また、町長にも反論権を認め、更なる活発な議論が展開されることになりました。

町民の皆様には是非、議会傍聴に足をお運び頂きたいと思っております。

三好 晋也

広報公聴常任委員会

委員長 上原 二郎
副委員長 三輪 英男
委員 三好 晋也

川端登志一
森田 哲也